

平成28年度計画重点項目

◆社会情勢の変化や地域ニーズに対応した大学改革

高等教育機関を取り巻く社会情勢の変化や、地域及び時代のニーズに的確に応えるため、各キャンパスにおいて大学改革を着実に推進する。特に、松江キャンパス新学部設置等の準備、出雲キャンパス大学院の円滑な運営、浜田キャンパス将来構想の策定に重点的に取り組む。なお、大学改革を推進するにあたっては、学外からの意見を積極的に聴取し、反映するように努める。

- 松江キャンパスでは、新学部設置等について、平成29年3月の設置認可申請に向けて着実に準備を進める。また、平成28年夏を目途に高校生への進学意向等調査や事業所への採用意向調査等を行うとともに、学生確保に向けた広報活動を実施する。(No.1)
- 出雲キャンパスでは、平成28年4月に開設する大学院看護学研究科において、看護実践力、コーディネート力、研究力を身につけられるよう個々の学生に適した授業科目の履修を指導・助言する。(No.19-2)
- 浜田キャンパスでは、将来構想検討委員会の素案を基に、法人改革検討委員会における検討を踏まえて法人としての将来構想を策定し、島根県や島根県立大学支援協議会に報告する。(No.1)
- 学生や地域住民等から意見を得る機会を設け、提出された意見に対しては可能な部分から対応する。(No.84,89)

◆地域と協働した社会貢献の推進

島根県立大学憲章に謳う「地域のニーズに応え、地域と協働し、地域に信頼される大学」を実現するため、文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（大学COC（Center of community）事業）」や「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」を基軸として、地域と協働しながら社会貢献活動を推進していく。

- 「地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム」事業を着実に推進する。平成28年度は、「しまね地域共生学入門」を出雲キャンパスと松江キャンパスで、「地域共生演習」及び「地域課題総合理解」を浜田キャンパスで新たに開講する。また、松江キャンパスでは、『履修証明プログラム』8コースを開講する。(No.46,54)
- 県内就職率向上に向け、島根大学、ジョブカフェしまね等と連携し、学生が県内企業を知る機会となるイベント開催に協力するとともに県内企業とのマッチングを促進する。浜田キャンパスでは、引き続きインターンシップ教育を重視し、学生参加の増加を図るとともに、受入機関からのヒアリングを行いインターンシップ教育に反映させる。(No.9,10,36)。

◆学生確保、教育内容及び学生支援の充実強化

いわゆる“2018年問題”により、大学間競争がますます激化していくことを踏まえ、将来を見据えた学生募集活動に注力するとともに、本学の特色を打ち出していけるよう、教育内容の更なる充実を図る。また、小規模な本学の特性を活かし、入学から就職に至るまでのきめ細かな支援体制を構築する。

- 各キャンパスにおいて、志願動向及び入学者の学力について分析を行う。また、学部・大学院・短期大学部それぞれの状況に応じ、効率的に高校訪問等を行い県内外へ向けた学生募集活動に取り組む。(No.2,3)
- 各キャンパスにおいて、授業公開や学外の意見聴取など、授業改善に向けた取り組みを試行する。(No.27)
- 就職活動時期の変更等、変化する就職環境に的確に対応していくため、キャリア支援プログラムを検証し、必要に応じて改善を加えながら、きめ細かな支援プログラムを実施していく。また、公務員受験対策についても、自治体からのヒアリングを通じて求められる人物像を把握しながら、支援策を展開する。(No.35)

◆国際交流、海外留学等の促進

島根県立大学憲章に謳う「北東アジアをはじめとする国際社会の発展に寄与する大学づくり」を実現するため、グローバル人材の育成に引き続き取り組む。

- 北東アジア地域研究センターでは、大学共同利用機関法人 人間文化研究機構及び他の研究拠点機関と連携して「北東アジア地域研究推進事業」を着実に実施する。(No.50)
- 国際交流センターを中心に、全キャンパスの学生が交流可能なプログラムを実施する等、国際交流事業を積極的に推進する。(No.60,61,65)